

「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクト
<http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport/>

NEWSLETTER

女性研究者支援について思うこと

上智大学長 滝澤 正



目次：

女性研究者支援について 思うこと	P1
第5回男女共同参画 セミナーを開催	P1
2011年度春期図書貸出 サービススタート！	P1
Special女子学生キャリア アップ支援コロキウムを 開催	P2
(お知らせ) 論文等の英語添削 サービスを開始	P2
(お知らせ) 学生メンター講習会開催	P2
(お知らせ) 第9回女子学生キャリア アップ支援コロキウム 開催	P2
平成23年度第1回WG 全体会議を実施	P2

私が専攻する法学の世界において、ここ数十年の間に女性研究者が大幅に増加しています。まず研究者ということではありませんが、私が大学生であった当時の東京大学法学部には、600名を超える1学年の学生のうち女子学生は常に10名以下しかいませんでした。そのため極めて目立つ存在であり、やむなくかどうか分かりませんが、皆さん本当に頑張っておられました。ところが今日では女子学生が100名を超えており、ごく普通の共学風景となっています。雰囲気も大きく変化して、授業をさぼったり投げやりな答案を書く女子学生も少なからずおり、男子学生と何ら変わらなくなっています。当然といえば当然の現象でありまして、これを私がやや残念に思うのは回顧趣味のせいでありましょう。

他方で、私が上智大学に就職した当時の法学部教授会では、女性教員は皆無でした。全体の人数が増加したとはいえ、今日では9名の女性教員がおられ、大きく様が変わりました。女性教員を最初に採用した際には、本人も周囲も女性であることを過度に意識していたように思われます。今や女性教員はそれぞれの法学分野の専

門家としてしかみられておらず、全くの自然体となっています。

性別は研究者としての能力とまったく無関係とされますので、女性研究者がかつて少なかったのは、能力とは別の社会的要因が関わっていたこととなります。社会は着実に変化しつつあり、性差別がなくなりつつあるという意味で喜ばしい傾向であります。ここまで到達できた背景には、旧弊の打破に活躍された女性研究者の頑張りや、それを支援した家族や友人の献身があつてこそであることを忘れてはならないでありましょう。私自身も、妻が同業の女性研究者の草分けの一人であることに感慨深いものがあります。

もともと、依然として女性研究者の比率が極めて低い学問分野もあります。本学の女性研究者支援プロジェクトによって、こうした障壁が少しでも除かれることを期待しています。

第5回男女共同参画セミナーを開催

「私たちの身体と食品と放射線～毎日の生活や子育てのための放射線に関する疑問を解消しよう！～」

講師：阿部 道子 氏（独）放射線医学総合研究所名誉研究員

4月19日（火）、上智大学2号館510会議室で第5回男女共同参画セミナーが行われ、45名が参加しました。東日本大震災に伴う福島第一原発の事故により、放射線に関する報道が様々なされる中、主に子育て中の方などに放射線の正しい基礎知識を学んでもらうという機会です。阿部氏は、放射線に関する基礎知識をはじめ、日常の身の回りにある放射線、放射線の人体への影響、放射線の医療、農業、工業分野に役立っている例も紹介されました。

また、放射線に対して漠然と怖いというイメージをもつだけでなく、正しい知識を身につける

ためにも、放射線教育の重要性も指摘されました。参加者からは、「漠然とした不安が解消された。」、「ご本人の経験に基づくわかりやすいお話をさせていただき、とてもよかったです。」などのコメントがありました。



参加者からの質問をお聞きする阿部氏（右）



Special 女子学生キャリアアップ支援コロキウムを開催

★宇宙への道★ 講師：宇宙飛行士 山崎 直子氏 (東京大学工学系研究科航空宇宙工学専攻研究生)

2011年5月19日(木)に全学共通科目「マルチメディア情報社会論」の講義の一部を兼ねた第8回女子学生キャリアアップ支援コロキウムを中央図書館L-921会議室で開催し、158名(履修生105名、一般参加(学内50名、学外3名))が参加しました。前半は、宇宙航空研究および2010年に行われたミッションを中心に、宇宙への経験、仕事、アメリカのNASAへの説明をしてくださいました。また、宇宙飛行士になった経緯や仕事の大変さなど、経験者ならではの大変さや楽しさを伝えてくださいました。特に、2010年、山崎直子氏が参加した宇宙ステーションでのミッションを写真、映像を見て、宇宙という空間についてより具体的に体験できたような感じがしました。後半は「希望の未来へ」というメッセージとともに、山崎直子氏がどのように夢を見つけたのか、夢を実現するために、どのような方法を選択してきたのか、その中の悩み、葛藤などをどのように乗り越えたのか、また、女性として抱える問題である育児、出産、介護などについても話をされました。その中で印象的な話としては、夢を見つけるきっかけとなったエピソードでした。中学校時代のインド人女性との出会いがきっかけでより広い世界を見てみたいと感じ、その

後、アメリカ人と“文通”を始め、だんだんと具体的な夢へとつながったそうです。今回の講演で学生のみなさんは彼女のような宇宙飛行士が手の届かない雲の上の方ではないと感じ、きっと、今回の出会いが新たな世界を結んでくれたのではないかと思います。講演後の質疑応答では、今後のロボットと社会の関連性についての考えや、宇宙飛行士になってから女性として大変だった経験、日本の宇宙航空研究の未来についてなど、様々な観点から活発な質問があり、丁寧に答えていただきました。そして、「日々の生活の重なりが夢に近づく道である」というメッセージから宇宙まで届くような夢はきっと我々の身近にあるのではないかと実感しました。



熱心に学生の質問に耳を傾けられる山崎氏

お知らせ

●論文等の英語添削サービスを開始●

女性研究者支援事務局では、女性研究者の卵である女子大学院生の国際学会での発表や、国際的学術雑誌への論文投稿といったチャレンジを積極的に推進するために、英語論文作成等にあたり、専門家から指導を受けられる支援をしています。申請方法や提出書類の説明に関しては、理工学部掲示板の右記ちらしをご参照の上、女性研究者支援事務局まで直接お問い合わせ下さい。



●学生メンター講習会開催●

日時:2011年6月15日(水) 17:00~18:30
場所:コモンスペース(10号館315号室)
対象:4年生、大学院生(理工学部女子学生)
講師:横山 恭子先生(カウンセリングセンター長)
島山 朝子先生(臨床心理士)

メンティー(理工学部女子1~3年生)
も随時募集しています。ご相談がある方は事務局までご連絡下さい。



●第9回女子学生キャリアアップ支援コロキウム開催●

日時:2011年7月6日(水) 13:30~15:00
(講演:40分 フリートーク:50分)
場所:10号館10-323ゼミ室
講演者:袖子田 志保氏(上智大学理工学部物理学科卒業)
(株)IHI技術開発本部総合開発センター
制御技術開発部先端制御グループ
対象:本学学生
主催:上智大学キャリアセンター



○平成23年度女性研究者支援第1回WG全体会議を5月23日(月)に実施しました。

編集後記

2011年度の活動が本格的にスタート致しました。新年度を迎え、ワーキンググループメンバーに新しい顔ぶれも加わり、新体制で「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクトがスタートしています。学内各署との連携を密にし、本プロジェクトの趣旨を少しでも多くの方とシェアしていけたらと思います。

問い合わせ・連絡先:

上智大学女性研究者支援事務局

102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

場所:10号館3階315号室

電話:03-3238-4052

mail:wrsswg@sophia.ac.jp

http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrssupport

